

## 大好き部活動

自分の中学校時代を振り返ると、学習面は後悔（こうかい）ばかりですが、部活動だけは、それほどの後悔はありません。大会の試合では、ああすればよかったというものがあります。しかし、相手がいることですから、自分の思い通りにいくものでもありません。部活動の練習では、さほどの後悔がないのです。

1年生から3年生まで、帰りの学活が終わると、ダッシュでテニスコートに行っていました。練習の準備もテキパキとしていました。1分でも早くボールを打ちたかったからです。準備運動が十分かと言われれば、多少の疑問は残りますが。

うまくなりたいし、試合で勝ちたい。だから、できるだけ長く練習したかったです。練習も一生懸命やっていました。顧問の先生がいるときといないときとで、それほどの差はなかったように思います。顧問の先生がいるときは、余計（よけい）に張り切ってやっていたかもしれませぬ。頑張っているところを見てほしかったのかもしれませぬ。

冬の間はつまらない期間でした。雪が積もると、テニスコートが使えなくなりました。今では、冬でも当たり前のように体育館でボールを打つことができます。ところが、あの頃は、体育館でボールを打つ機会など全くありませんでした。12月から2月までの3か月間は、完全にシーズンオフでした。

仲間にも恵まれました。冬の間、毎日、みんなで5kmのマラソンコースを走っていたのです。自分一人では、できなかつたと思います。仲間がいたからできたのです。おかげで体力がつかしました。その成果が、夏の大会で表れました。

ボールが打てない分、ソフトテニスの勉強をしました。戦術（せんじゅつ）の勉強です。同じボールを打つにしても、どこに打つかによって、その後の展開（てんかい）が変わってきます。ソフトテニス、2人の選手がペアを組んで試合をするスポーツです。それぞれに役割があります。コンビネーションも大切です。勉強をしていくと、なるほどということがたくさんありました。

3月になり、少しずつテニスコートが使えるようになってきます。それまでためておいたエネルギーを爆発させました。3年生になってからは、中体連の大会まで短かったように思います。きっと、もっと練習したかったのに、いつまでも部活動をやっていたいのという思いだったのでしょう。

中学時代に、部活動をやっていてよかったと思います。あの頃は、私のような部活動大好き人間が多かったように思います。皆さんは、部活動大好き人間ですか。もし、そうならば、とてもいいことです。人は夢中になれる、好きになれるものがあると、それだけ成長することができます。「大好き部活動」でいいのです。